

## 市民参加推進フォーラムの平成 28 年度の取組について（案）

## 1 会議の運営

## (1) フォーラムの開催

4～5 回の開催を想定

## (2) フォーラム会議で議論する内容について

ア 第 2 期市民参加推進計画改定版の推進に関する成果や課題等进行分析するために、その分析方法を検討する。（詳細は資料 3）

## 【参考】

## ①第 2 期市民参加推進計画改定版の記載

附属機関「市民参加推進フォーラム」において、計画推進に関する成果や課題等进行分析し、数値を用いるなど分かりやすい形でホームページで公表

## ②計画改定に当たってのフォーラムからの提言書の記載

京都市は、市民が市民参加の現状を知り、効果を実感することで、更なる行動促進につながるよう、市民参加推進計画の推進状況をわかりやすく市民に示すべきである。

京都市が市民参加を積極的に推進していることを、多くの市民が実感することが、市政への信頼度の向上や、市民のさらなる行動促進につながる。

このため、市民が市民参加を「自分ごと」、「みんなごと」と感じられるよう、市民参加推進計画の進捗状況をしっかりと検証し、市政運営における市民参加の効果や市民のまちづくり活動の活性化の状況などについて、指標を用いて説明するなど、市民にわかりやすく示す必要がある。

## イ メールマガジン「職員のための市民参加推進の手引き」の内容確認

平成 26・27 年度に議論した「職員のための市民参加推進の手引き」について、分割して職員向けにメール配信を行う予定であり、その内容について、事前に確認を行う。

## ウ その他、市民参加推進に関する事項

新たに設置された附属機関の確認 など

## (3) 自主勉強会

委員の議論を補完し、委員間の情報共有を図るため、必要に応じて自主勉強会を開催する。

## **2 会議以外の取組**

### **(1) 市民参加円卓会議の開催**

市民同士の市民参加に関する率直な意見交換を行い，フォーラムでの議論を補完する。

### **(2) 市民公募委員サロンの開催**

本市の設置する各附属機関等に在籍する市民公募委員の交流を深めるとともに，それぞれの附属機関での経験についての意見交換をすることで，今後の附属機関委員としての充実した活動につなげる。